

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと
市民活動総合情報誌

あいず

eyes

第2号

2013年1月号

特集

平成24年度「くまもと・わくわく基金」
助成団体が決まりました！

数字で見る「あいぽーと」





Contents

特集

平成24年度「くまもと・わくわく基金」 助成団体が決まりました！	2
数字で見るあいぽーと	8

市民公益活動を支える

株式会社えがお 代表取締役 北野忠男さん	6
----------------------	---

リレーエッセイ

オーストラリアのボランティア活動	11
------------------	----

シネマ放談

七人の侍とNPO	12
----------	----

シリーズ市民公益セミナー

きょうから始める市民活動（2・3）	14
-------------------	----

NPO法人はじめの一步（1）	16
----------------	----

寄附金付自動販売機の設置について	17
------------------	----

おしゃべりノート

あいぽーと仲間の1週間	18
-------------	----

くまもと・わくわく基金からのお知らせ	19
--------------------	----

あいぽーと文化祭	20
----------	----

11月25日に開催されたあいぽーと文化祭での一コマ。いろいろな伝統芸能が披露されたが、そこで気づいたのは女性が多いこと。南京玉すだれもちんどん屋も、元気な女性が演じていた。折しも天草を舞台にした映画「わたちの都・ワッゲンオッゲン」を観た。これもまた女性が町おこしに立ち上がる話。男女共同参画が言われて久しいが、市民活動の世界では着実に女性を中心に占めつつあることを実感する。そういえば、あいぽーとも仕切っているのは女性です！（和）



表紙写真の紹介

2013年のスタートにあたって



「特定非営利活動法人 NPOくまもと」

代表理事 古賀倫嗣

新年、あけましておめでとうございます。

熊本市民の皆様、「あいぽーと」利用者の皆様、どんな新年をお迎えでしょうか。

平成23年3月の東日本大震災以降、市民と市民を結び付ける「絆（きずな）」という言葉が注目されています。それまでは、「地縁」「職縁」など「縁（えん）」という言葉が使われていたものが、一歩進んで積極的にお互いが関わろうとする力、新しく何かを生みだしていく力として「絆」が求められてきたと考えています。

市民活動は、市民と市民を「地域課題の解決・改善」の理念と目的でつなぐ活動です。熊本市では、昨年制定した「熊本市市民参画と協働の推進条例」の中で、「協働」の理念について「同じ目的のために、それぞれが対等な立場に立ち、役割と責任を担い、協力すること」とうたわれております。平成25年も、「あいぽーと」は市民協働の拠点として、「絆」づくりに努めてまいります。『『想い』を語る』ことから「仲間を作る」ことへ、さらには「一緒に課題解決の活動に取り組む」ことへ、そのお手伝いができれば幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

★2013年前半のあいぽーとの事業スケジュール予定★

あいぽーとは「NPOなど市民活動団体や市民の活動支援」「情報発信」「くまもと・わくわく基金運営」の3つの柱で事業を行っています。2013年も市民公益活動がさらに活発となるよう、様々な事業を行っていききたいと考えています。

			1月	2月	3月	4月	5月	6月
市民活動 団体・市民 支援	研修・講座	NPO法人関連セミナー	● 設立セミナー 1/18(金)	● 設立セミナー 2/8(金)	● 会計セミナー 2/22(金)	●		●
		ボランティア登録者研修会		● 2/17(日)				
		市民公益セミナー(5回)	● 24年度・第5回 1/11(金)					● 25年度・第1回
	交流	あいぽーとカフェ	● 1/11(金)					
	相談	NPO設立・運営相談	随時受付					
		NPO労務相談(第1第3火曜)	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●
		個別ボランティア相談	随時受付					
情報発信	ホームページの更新		随時更新					
	あいぽーと通信の発行(毎月1日)		●	●	●	●	●	●
	メールマガジンの発行		随時発行					
	ボランティア情報(年2回)				●			
	情報誌eyesの発行(年2回)		● 1/5(土)					
わくわく基金 運営	相談	基金に関する相談	随時受付					
	説明会	登録に関する説明会						
		募集説明会						
	報告会		● 中間報告・交流会 1/11(金)				● 24年度 報告・交流会	
	基金運営	助成団体募集・決定	25年度募集	1/25(金)締切	● 25年度 助成団体決定			
		運営委員会			●			

特集

平成24年度「くまもと・わくわく基金」

助成団体が決まりました！

スタートアップ助成の決定

スタートアップ助成には、12団体から応募があり、書類審査が行われました。審査では、市民のニーズに合致しているか、活動が将来、持続、普及していくような発展性のある可能性が感じられるか、熊本独自の地域課題解決につながるかなどが重視されました。

分野指定助成の決定

分野指定助成には、21団体から応募があり、8団体が第1次審査の書類審査を通過、9月24日に第2次審査の公開プレゼンテーションに臨みました。

書類審査、公開プレゼンテーションともに、審査のポイントは、市民ニーズとの適合性、事業の公益的な効果、事業目的を達成する上で手段との整合性、事業の発展性、熊本独自の地域課題への取り組みかといった点でした。

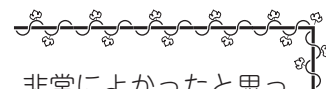
その結果、「うえき自然塾」「さわやかボランティアーズ」「くまもと発達支援親の会「めだか」」「NPO法人成年後見安心サポートネット熊本」「NPO法人しらさぎ」「城下町和samonもてなし隊」の6団体に決まりました。

図 平成24年度「くまもと・わくわく基金」助成団体決定までの流れ



初年度である平成24年度の助成は、設立後3年未満の団体が行う事業への助成である「スタートアップ助成」と、これまでの活動を充実、拡大する、あるいは活動に関連し新たに行う事業に助成する「分野指定助成」の2種類の募集で、助成予算額は「スタートアップ助成」20万円、「分野指定助成」80万円でした。

「くまもと・わくわく基金」助成事業審査会 明石委員長 総評



「くまもと・わくわく基金」は今回が初めての募集でしたが、たくさんの応募があり、非常によかったと思います。

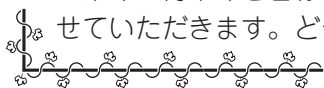
プレゼンをしていただいた団体の内容を一言で言うならば「地域におけるつながりの再発見」でしょうか。東日本大震災の例をとりましても、山積する地域の課題は、行政だけで解決できるわけではありません。NPOや市民との協働、人とのつながりを活かすことで初めて、解決できるという時代になってきています。皆様方の活動は、まさに地域の新たなつながりを創造し、再発見をしていく、あるいは、強めていく取り組みの具体的な説明であったと思います。聞いておりまして、大いに期待ができるという気持ちを改めて強く抱きました。

ただ、協働や連携は支える仕組みがないとなかなか実現できません。今回立ち上がった「くまもと・わくわく基金」は、企業や市民からいただいたご寄附を活動団体に助成するという正しく新しい公共を支える大きな仕掛けと言えます。

この仕組みがいろいろな形で市民の皆様に伝わることで、さらに寄附が集まり、さまざまな活動に取り組みたいという団体も増えていくという良い循環が始まり、今後、ますます大きく育っていくことを心からお祈りするものであります。

そういう意味で、今日、プレゼンをいただきました取り組みは、今後につながっていくことが、大いに期待できる内容であったように思います。また、プレゼンも決められた時間の中で取り組みがきちんと紹介され、どういうことをしたいのかが伝わってきました。皆様方の取り組みについて大いに勉強させていただきました。

来年、再来年と皆様の活動の今後の展開に期待をしつつ、簡単ではございますが、本日の総評ということにさせていただきます。どうも、ありがとうございました。



24年度助成団体の紹介 ● ● ● ●

スタートアップ助成団体

■ は一とりんく熊本

活動 「は一とりんく熊本」は、命に緊急な事態が起こった時、また急病やケガの際に、現場に居合わせた人が行う‘手当て’を伝えています。救急隊が到着するまで、又治療を始めるまでの間、命と心を引き継ぎ、助けが必要な人に寄り添う術‘すべ’を持つ人が増えることで、熊本が『命と心がつながるやさしい街』になっていくでしょう。より悪化しない手当て・回復が早まる手当て、実は私達市民にもできることがあります。又、災害時の備えにもなると考え取り組んでいます。

助成金 月に1回の‘応急救護手当て講習会’を開催していきます。(計5回開催)どなたでも参加できます。開催申し込みや問い合わせお待ちしております。(心肺蘇生法・AEDの操作・のどづまりの対処法・出血やケガ・急病の時の手当てなどの内容です。)

10年後 子供達(小学生から高校生まで)の学校教育の一環として、命と心をつなぐ術を一般市民の立場で伝えていく活動ができていたらいいなと思います。

■ 特定非営利活動法人 余芳舎

活動 余芳舎(よほうしゃ)は、就労する機会を得る事が困難な障がい者等の労働弱者に対し、その機会を提供し自立支援を通して豊かな地域社会を創り上げていくことを目的として平成24年8月に事業所(就労継続支援A型)を設立しました。この事業所で様々な障がいを持つ方々約20名を雇用し、企業から受けたベビー服の加工や新聞の折込配布、ビル清掃等の作業を主体に活動を行っています。

助成金 当法人が持つ就労継続支援A型の知識を活かし、熊本市在住の精神障がい者を対象に熊本県内にあるみかん農家で、園芸療法と訓練中の収入を得ることを兼ね、みかんの収穫繁忙時期に収穫技術の講習を行います。

10年後 一人でも多くの障がい者が一般就労できるよう、余芳舎が最大限にサポートし、今以上の地域社会の向上発展に貢献する団体になります。

分野指定助成団体

■ うえき自然塾

活動 うえき自然塾は、北区植木町の田原小学校区の小さな里山にあります。美しい小川が流れ、竹山と田んぼ、栗畑などあり、四季折々の自然の美しさに満ちています。この豊かな自然をこども達に体験させたいと想い、平成19年5月に同じ思いを持つ仲間と活動をスタートさせました。月1回日曜日に親子で、ここでしか味わえない活動を工夫しながら1日を過ごしてもらっています。活動の柱は、「食」「作」「遊」の3つ。毎月季節に合わせた活動を食と合わせて実施しています。

助成金 活動をより多くの人に周知・理解してもらうための広報活動や活動が安全かつスムーズに行えるような活動の場の保全・整備、あるいは、活動の充実のための道具や材料の購入に充て、今後の活動をさらに広げていきたいと考えています。

10年後 現在の施設や活動の場を整備しながら、さらに奥の森にツリーハウスを造るなど、子ども達がわくわくする場を広げたいです。また、研修施設を作り、大人の活動も充実させていきたいです。そのためにも多くの皆さんに活動を理解していただき、後継者の育成にも努力していきます。

■ くまもと発達支援親の会「めだか」

活動 めだかは、発達にかたよりのある子どもを持つ親が中心となり平成4年に発足しました。情報交換や親同士の交流を図り、子どもを理解するために学び合い、子どもの幸せを願い、支え合っています。主な活動は、月1回の感覚統合の専門家による学習会や情報交換、「めだか通信」の発行、子どもの療育活動、スターチルドレン（高校生・青年たちの仲間作りの場）、小・中・高校生・青年のニーズにあった勉強会、発達障がいの理解や啓発、行政機関への働きかけなどです。

助成金 知的な障がいを伴わない子どもたちの療育の場を存続させることは何よりも重要です。子どもの感覚のかたよりや苦手な分野を検査する為の備品や療育のための場所の確保等、より一層の療育の充実と学習に使用したいと考えています。

10年後 専門家に相談し教えて頂いた感覚統合の療育を家庭でも実践し、子どもたちが、将来、自分らしく働く社会人になっていける活動をしていきます。会の発足当時小学生だった子どもたちは、次々と社会に巣立ち、新たな課題と向きあっています。めだかグループでの療育という支援ばかりでなく、就労・生活支援についても取り組みを進めていきたいと思います。

■ さわやかボランティアーズ

活動 さわやかボランティアーズは、居住地域ごとに仲間づくりをし、地域に根ざした社会参加活動を行うという趣旨で、平成13年5月に結成されたボランティアグループです。これまで培ってきた技術、知恵、趣味、特技を生かしたボランティア活動を通じて、社会に役立つ活動の推進並びに自分自身の生きがいつくりと健康づくりを目指しています。活動は「会員全員で実行する活動」と「地域ごと分けた班活動」の2つに分けられます。

助成金 会員全員で実施している「ボランティアーズ祭り」と「ふるさと祭り」に助成金を使います。ボランティアーズ祭りでは、伝承遊びの竹トンボ、紙ヒコーキ、シャボン玉等の材料代に、またふるさと祭りでは地域の子どもや児童園の園児を「餅つき大会」「どんどや」に招待する経費に使います。

10年後 10年後には65歳以上の高齢者が人口の30%以上を占めると推測され、高齢者同士の介護、孤独死の頻発、医療費の拡大等、高齢者問題がさらに深刻になると想像します。そのような社会では、ボランティア活動は益々必要不可欠となると考えられます。今後は、組織の充実を図り、社会に役立つ団体になる努力をします。

■ NPO 法人 成年後見 安心サポートネット熊本

活動 当法人は平成12年に介護保険制度との両輪として創設された成年後見制度の活性化を目指して設立したNPO法人で、高齢者や障がい者に特有の諸問題に関する相談事業や後見人等の受任、後見制度等に関する講演会や各種研修会の開催等を行っています。

特に未だ一般市民の方々に認知度の低い成年後見制度の内容をよく知っていただくため、成年後見無料相談会の開催に力を入れて取り組んでいます。

助成金 人権擁護機能と生活保持機能という二つの機能を併せ持った成年後見制度という素晴らしい仕組みについて、より多くの市民に知っていただくため、成年後見無料相談会の開催についての広報経費等の一部として有効に活用していく予定です。

10年後 超高齢社会の下、弁護士等の専門家後見人に代わって市民後見人の数が著しく増加することが予想されますので、円滑・適正な後見事務を担保するために、当法人が公的団体等から委託を受け、市民後見人の後見事務の指導監督の任に当たるような立場に成長します。

■ NPO 法人 しらさぎ

活動 平成19年11月に NPO 法人を設立しました。その母体・構成員の大半は白鷺電気工業の社員とその家族です。①熊本城石垣除草清掃（110名）②八代城址・水島の石垣除草清掃（130名）③老健施設（133名）④西原村下草刈（100名）の4大事業に永年取り組んでいます。（数字は前年度参加人数）更に、本年より熊本市主催の「くまもと環境フェア」で、太陽光発電や小水力発電の仕組みを展示紹介しました。何れの活動も定着し、年間行事化しています。

助成金 西原村下草刈りは、水資源涵養植樹活動（平成20年～21年）から始まり、苗木の成長に邪魔になる雑草除去は水循環過程において欠かせない作業です。森林を育てる大切な作業にボランティアを募る、その輸送費及び鎌や手袋等作業用品に活用させて頂き、今後のさらなる参加者の広がりにつなげたいと思います。

10年後 法人の社会貢献活動として始った各種のボランティア活動魂は、社員は元よりその家族にも恒例化し、浸透しています。市民公益活動に賛同する多くの仲間をつくり「認定 NPO 法人」を取得した私たちの団体は、活動事業を増やし、毎月1回は、多方面からの参加者で溢れる諸活動を実施し続けています。

■ 城下町和 samon もてなし隊

活動 城下町和 samon もてなし隊は、熊本城の城下町「新町・古町」地域において、平成22年より地元案内人による町歩きガイドを行っています。「新町・古町」の名所・名店を掲載した散策マップでは、「新町・古町」のお店で出来る体験ツアーなども紹介しています。散策マップを片手に、町案内人によるガイドと共に、城下町の歴史・文化・うまかもん・人を存分に楽しんでいただきたいと思います。

助成金 城下町くまもと 新町・古町散策マップの改訂版を作製し、観光客の増加や賑わいづくりにつなげます。

10年後 県内外から来られたお客様に体験ツアーで自分で作ったものを持って帰っていただき、「新町・古町」の歴史・文化を身近なものと感じていただき、町の人やご家族と話題にいただきコミュニケーションを深めていけるような、そんな活動にしていきたいです。

平成25年度の「くまもと・わくわく基金」助成団体の募集開始！

くまもと・わくわく基金

平成25年度スケジュール

平成24年12月26日(水) 募集説明会
平成24年12月 3日(月)～平成25年 1月25日(金)
助成事業募集
平成25年 3月 選考（書類審査、公開プレゼンテーション）
平成25年 4月 助成事業決定
平成25年 4月～平成26年 3月31日(月)
助成事業の実施
平成26年 4月11日(金) 報告書提出
5月 報告会、交流会

平成25年度の助成事業は、「スタートアップ助成事業」と「分野指定助成事業」の助成を行います。分野指定助成事業は、次の4分野となっています。

- ①「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」
(株えがお・わくわく基金より)
- ②「環境の保全を図る活動」
(コスギスマイル基金より)
- ③「生涯学習・子どもの健全育成を図る活動」
- ④「まちづくりや地域安全の推進を図る活動」

◆締め切り 平成25年 1月25日(金)

*助成事業の申請には団体登録が必要ですので、まだ登録されていない団体は併せて団体の登録申請をお願いします。

◆詳細は、あいぽーとまでお問合せください。また、あいぽーとでは助成申請の支援も行っていますので、ぜひご活用ください。

あいぽーと TEL096-366-0168

市民活動を支える企業

市民活動をされている皆さんが
多くの情報を発信してくだされば、
私たち企業もさらに応援したいと
思うようになります。

(株)えがお

代表取締役 北野忠男さん

聞き手 熊本市市民活動支援センターあいぼーと

センター長 岡部香月

■企業は単に利益を追求するだけでなく、社会のために存在しており、地域のおかげでビジネスが成り立っています。

(岡部) えがおさんはこれまでに様々な社会貢献活動をされていますが、いつごろから取り組まれるようになったのですか？

(北野) 7年ほど前から南阿蘇で米作りを始めました。それが米を作るだけでなく、冬にも田に水を張ることで熊本地下水を守るという活動につながっていきました。また、5年ほど前から、社内でペットボトルのふたや使用済み切手の回収なども行っています。

また、毎週金曜日には、社員全員で会社周辺のごみを拾う清掃活動も行っています。

(岡部) そういった社会貢献活動に取り組むことで社員の方になにか効果が生まれましたか？

(北野) 企業は社会のために存在しており、地域のおかげでビジネスが成り立っていると考えています。単に利益を追求するだけでなく、「社会のおかげで」という意識が大事で

す。そのことが社員にも浸透してきているのではないかと思います。

(岡部) そういった社長のお考えは、どういった機会に社員の方にお話されているのですか？

(北野) ことあるごとに何度も話をしています。朝礼ではもちろん、社員との対話会を開催し社会のおかげで私たちが生かされている事に感謝をするよう話をしています。

(岡部) 社員の方もすすんで参加をされているのでしょうか？

(北野) 初めはやらされていると感じていたかもしれませんが、続ける中で地域の方と挨拶を交わしたり、少しでもお役に立てていると感じるようになり自主的に参加をするようになっ変わってきたように感じています。雨の日や寒い日は心中どう思っているかは分かりませんが(笑) このように自主的に地域とかかわっていくことがとても大切だと思います。

(岡部) えがおさんは「社会に貢献できる人を育てる」という理念をお持ちですが、このお考えはすばらしいですね。

(北野) 企業は社会に貢献できる存在でなければならぬと考えています。そして社員にも社会に貢献できる人に成長してほしいと願っています。そういう人材であれば、どこへ行っても大切にされるでしょう。また社会に貢献したいという志を持つ人が増えることで、よりよい社会づくりができるようになります。企業には社会に貢献する人材を育てる使命があると思います。

■わくわく基金の市民活動団体を育てるという趣旨に共感

(岡部) くまもと・わくわく基金は、熊本市が政令市となったことを記念してできました。まだ1年にも満たないため、なかなか皆さんに知っていただく機会がないのですが、どういった思いでご寄附いただいたのでしょうか？

(北野) 熊本経済の発展のためには、地域の課題解決に取り組むNPO団体や社会的企業を育成することが大切だと考えています。く

まもと・わくわく基金は、NPOなどの市民活動を支援し、育てていくという目的がはっきりした基金であると同い、その趣旨に共感し、ご協力できればと考えて寄附させていただきました。

(岡部) 自分たちが応援することで、ボランティア団体などに育ってほしいという願いがおりになったということでしょうか。

(北野) そうです。

(岡部) わくわく基金のよいところは、助成をいただいた団体が、寄附をしてくださった方々の思いに、活動という目に見える形で応えていくということです。特にこういった分野の活動を支援していきたいということはあります。

(北野) 保健、医療、福祉の増進、あるいは環境保全という分野を支援したいと考えています。とくに私どもは、みなさんの健康生活を応援している会社ですので、健康づくりの分野が非常に重要と考えています。



■市民活動団体は、全国のモデルケースとなるくらいの意気込みでさらなる情報発信を！

(岡部) 寄附された企業として、わくわく基金の助成を受ける団体に対して、どういう期待や希望をお持ちですか？

(北野) NPOなど市民活動団体の方々には、それぞれが明確な目的を持ち、活動にまい進していただきたいと思います。そうすれば私たち市民にとって、熊本市はもっと暮らしやすいまちになるでしょう。できれば『活発な市民活動によって暮らしやすさナンバー1の都市を実現した全国的なモデルケースを熊本で作り上げる』というような大きな目標を持って頂きたいですね。

(岡部) そうですね。私たちも九州の中で立派な活動をしている団体があるということで注目されるように頑張っていきたいと思っています。最後に市民活動をしている団体へエールをお願います。

(北野) これから高齢化は進み、厳しい経済状況に回復の兆しは見え、誰もが漠然とした不安を抱きながら生活をされていると思います。そのような今の世の中を何とか変えようと、皆さんは志を持って活動してくださっています。その志を高めながら、これから益々、頑張ってくださいですね。

私たちもできる限り応援していきたいと思っています。そのために、私たちに向けて、皆さんがどのような活動をされているか、

多くの情報を発信して頂きたいと思っています。活動への理解や印象は、発信のタイミングや方法によって随分変わってきます。タイミングを失することなく、情報を発信してください。私たちが企業もさらに応援したいと思うようになります。

(岡部) NPOの場合、情報公開は進んでいるのですが、情報発信という点ではホームページも持たない団体がほとんどです。あいぽーとは、これからも助成団体や登録された方々の情報をホームページ等で紹介し、情報発信を強化していきたいと思っています。今日は本当にありがとうございました。

笑顔(*^o^*)の こぼれ話

「えがお」という社名は、社長が「みんな笑顔になってもらいたい」という思いから命名。難しい言葉では伝わりにくからと、わかりやすい直接的な表現にしたそうです。ところが、社員からは「衝撃的」「電話で社名を言うのが恥ずかしい」など大反発に合い、2年間かけて説得。2008年に晴れて「えがお」に。今では社員から「お客様に覚えてもらいやすい」「電話を受けるときに自然と笑顔になる」と大好評とのことで、めでたし、めでたし。

特集

数字で見る あいぽーと

あいぽーとの大きな役割のひとつに、市民公益活動を行っている団体や市民の方への、ボランティア活動の機会や交流の場の提供があります。今回は、この役割に関係するあいぽーとの活動を数字で紹介します。

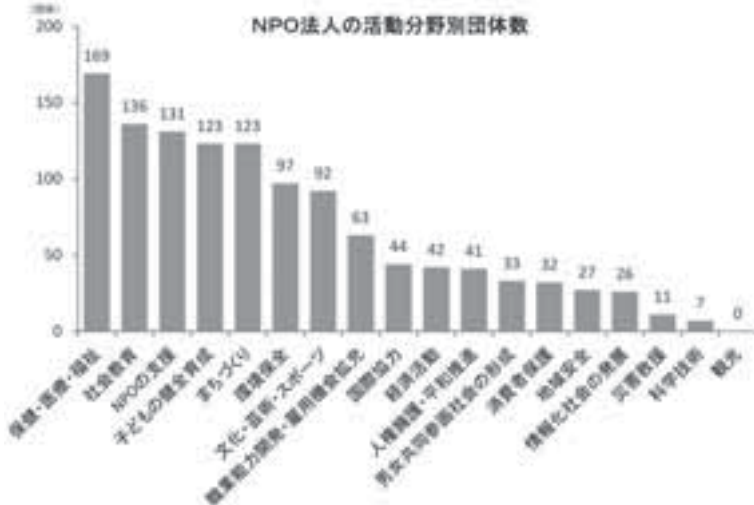
熊本市内のNPO法人数

熊本県内には659団体のNPO法人が設立されており、そのうちの302団体45・8%は熊本市にあります。（平成24年10月31日現在）

市内の法人は、さまざまな活動しており、特に高齢者や障がい者等の地域での生活を支援する「保健、医療、福祉の増進」の分野では169団体と最も多くの団体が活動を行っています。そのほか、「社会教育の推進」136団体、「他のNPO活動支援」131団体、「子どもの健全育成」「まちづくりの推進」がそれぞれ123団体と、活動分野は多岐に渡っています。

政令指定都市への移行にともない、平成24年4月から市内のNPO法人の所轄が熊本市に変わりました。あいぽーとでは、NPO法人設立のための説明会等の研修、設立や運営の相談等、スタートからきめ細かく支援していきます。

NPO法人の活動分野別団体数



（平成24年4月～10月）

くまもと・わくわく基金の相談

825人

今年からスタートしたくまもと・わくわく基金に寄附をしたいという方、助成を受けたいという団体等から様々な相談を受けています。今後、基金の認知が進むと相談件数も増えることが予想されます。



印刷機利用者

190人

あいぽーとで稼働している印刷機は、会報やチラシ作成など、活動団体の広報活動を支えています。（有料）



パソコン利用者

456人

あいぽーとで利用できるパソコン2台は、市民活動情報の検索などに利用されています。



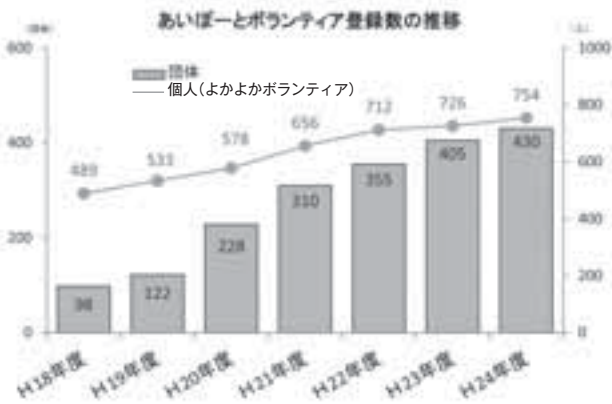
あいぽーとのボランティア登録数

あいぽーとでは、市民公益活動をしている、あるいはしたいと考えている団体や市民の方々のボランティア登録を進めています。

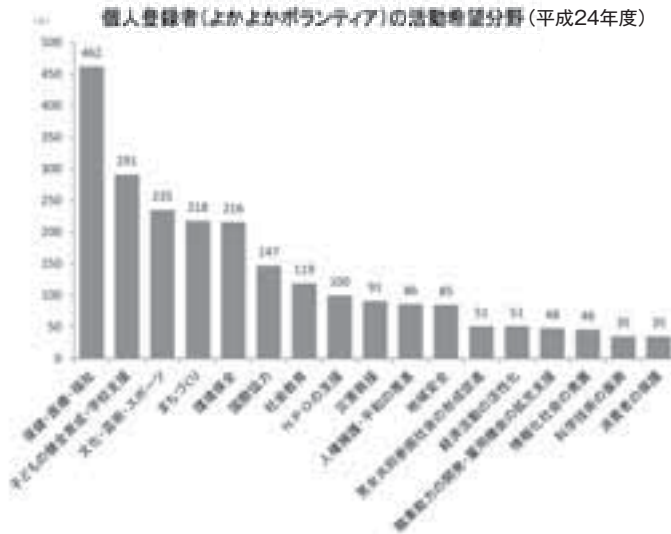
団体の登録数は、平成18年度は98団体でしたが、平成24年度には430団体と、4倍以上に増えています。（平成18年度は3月31日現在、平成24年度は10月31日現在）

登録団体の活動内容はさまざまですが、分野でみると「保健・医療・福祉の増進」（222団体）や「子どもの健全育成」（114団体）が多くなっています。

個人でボランティア登録している市民（よかよかボランティア）は、平成24年度に754人となっており、団体同様に平成18年



(各年度3月31日現在の数値、H24年度のみ10月31日現在)



度に比べ1・5倍に増えています。男女別にみると、男性266人(35・3%)に対し、女性488人(64・7%)と圧倒的に女性が多くなっています。活動分野は、登録団体同様に、「保健・医療・福祉」「子どもの健全育成」を希望する人が多く見られます。

あいぽーとでは、登録している団体、個人に、毎月「あいぽーと通信」等を通じてボランティア情報を提供しています。また、個人で登録している市民を対象に、実際にボランティア活動を体験する研修会を年1回開催し、さまざまなボランティア活動を知ってもらう機会を設けています。

あいぽーとの7か月

あいぽーとへの来所者

33,509人

ボランティア活動やNPOの情報を求める方や活動団体の会議、イベントなどへの参加者など、平日、土日の昼夜を問わず、多くの方々があいぽーとを利用しています。



ボランティアや市民活動の相談

3,694人

相談窓口に来所されるだけでなく、電話やFAX、メール等で個人やボランティアグループ、企業やマスコミの方々から、ボランティア活動についてのお問合せやご相談をいただいています。



NPO法人の設立・運営相談

2,099人

熊本市では現在、302のNPO法人が活動しています。新たな設立やスタッフ、資金、事業運営での悩みなどの相談に経験豊富な相談員が対応しています。



あいぽーとの活用方法 —ここがおススメ！—

NPO法人成年後見安心サポートネット熊本

◆こんなときに使っています

成年後見無料相談会や後見実務研究会を、それぞれ月1回、会議・セミナー室を借りて開催しています。

◆ここがおススメ

あいぽーとは市の中心部で交通の便もよく、相談者が来やすいところが第一によいところですが、ただ、人気が高く、希望の日時の予約が大変なのが唯一の難点ではありますが・・・。

◆団体の一言自己紹介

判断能力の不十分な高齢者、障がい者の皆さんが、いつでも、どこでも、容易に成年後見制度を利用して、安心した生活を送ることができる社会を作ろうという地域後見の実現を目指して活動しています。

あいぽーとをよく利用して
くださっている団体の方に
利用法を聞いてみました。

新老人の会熊本

◆こんなときに使っています

毎週火曜日に会議・セミナー室を借りて、スポーツ吹矢を行っています。

◆ここがおススメ

交通の便もよく、会場も広いです。

◆団体の一言自己紹介

「腹式呼吸」を利用した的に矢を吹くスポーツ吹矢は高齢者にも無理のないスポーツです。スポーツ吹矢を通して親睦を深め、高齢化社会の一つの生き方を発信していきたいと活動しています。



フード＆ライフスタイル協会

◆こんなときに使っています

フード＆ライフスタイル協会では、イベントコーナーで月一回の「ゆるベジカフェ」を開催しています。「ゆるベジカフェ」では、季節のお野菜と玄米ご飯中心のクッキングとランチョンセミナーを行っています。調理器具や食器が揃っているわけではありませんが、参加者の多くが子育て中のママなので、キッズコーナーがあったりして、参加しやすい環境です。参加希望の方は、毎回参加申込みが必要ですが、今は毎回参加されている方がほとんどで、告知もしていない状態です。

◆ここがおススメ

道路に面した2方が全面ガラス張りで、イベントコーナーが開放的でリラックスできます。また、ちょっとした少人数の打ち合わせなどは、交流コーナーが予約なしで利用できるのも助かります。

◆団体の一言自己紹介

フード＆ライフスタイル協会は、次世代の子どもたちが、安全に安心して暮らせる社会作りを目指して、食育と、子育て支援を中心に活動しています。

オーストラリアのボランティア活動

坂本 知嘉子



仲間とのハロウィンパーティーにて

オーストラリアは自然豊かな美しい国です。気候のせいか、人も大変温かく、自然と人をサポートする気質が皆に備わっているような気がします。バスや電車には、シルバーシートはありますが、あまり関係なくお年寄りが乗ってこれれば一斉に席を立ちます。階段で重い荷物を持っていれば、年齢問わず、男性が手を貸してくれる。道で地図を広げれば、「大丈夫？」と声がかかる。そういう光景をあたり前のように、目にすることができます。金髪にピアスのかっこいいお兄さんも、積極的に手を貸してくれる。素敵だなともいつも思っています。皆があたり前のようにしているので、私達外国人も自然と体が動く環境が整っているような気がします。

ボランティア活動の参加の仕方も大変ユニーク。「いやいやながら」「会社からいわれたから」という感覚ではなく、参加の動機の根底にあるのは「楽しいから」。楽しく参加できるイベントやプログラムが多く用意されているのも特徴の一つです。

例えば、「Loud Shirt Day」は毎年10月19日に行われ、派手なシャツを着て、チャリティーパーティをしようという企画。私の義理の弟は、金曜日の午後、ちょっとしたおつまみと飲み物を用意したパーティを社内に告知。参加資格は「派手なシャツを着てくること」と寄付用ゴールドコイン（\$ 1 か \$ 2）の持参。勤務する会社が\$100のデパート商品券を協賛し、くじ引きでプレゼントしました。面白いのは3番目に当たった人は、主催者とのランチにご招待！この日は、1時間半の間に300人以上の社員が参加、\$500の募金が集まったそうです。この募金は全て、聴覚障がい児を支援する団体に寄付されました。

「Movember」は毎年11月の1ヶ月間、男性がひげを剃らずに伸ばし続け、終了したところで周りの人達にご褒美として、募金をしてもらうというイベント。毎年多くの人に参加するので、認知度が高く、最近ヒゲを生やしている人が多いなと思うと Movember の時期という感じです。

「Jeans for Geans day」は、職場や学校で設定される8月のジーンズデイにジーンズを着用し、ゴールドコイン（\$ 1 か \$ 2）を持参し寄付をします。集まった基金は、すべて子どもたちの幼年期疾病を支援する団体に寄付をします。

「Dry July」は1ヶ月間禁酒にチャレンジするイベント。禁酒をしようと思う人がエントリーして家族や友だちに告知。見事に禁酒をした暁には、サポーターがガン支援をしている団体に寄付をします。

個人のレベルでイベントを企画し、楽しいからボランティアをする！周りの人にも、ちょっと声をかけると「おもしろい！」と賛同してくれ、参加してくれる。そういう支援の形が確立しているのが、オーストラリアのボランティアスタイルのような感じがします。

「楽しくボランティア」そんな気風がどんどん日本にも浸透してほしいなと思います。

シネマ放談 第2回

『侍』とNPO

真剣でやっても
同じじゃあ！



第一回目に続き、今回も有名映画でよ
もやま話。『市民運動と黒澤映画』さ
て、どんな話になるでしょうか。

今回は無謀にも映画界の伝説的カリスマ
黒澤明監督の映画を選んでしまいました。
ずいぶん前にこの映画をみた印象が残って
いて、NPOをやっているオババとしては、
「七人の侍」はまるでNPOじゃないかと思
っていたわけですよ。

それは、侍たちが野武士の襲撃から百姓
を守るからですか？百姓が市民で、NPO
はその市民を助けるからってこと？

まあ、そんなところです。命賭けて村を
守る手伝いをするわけですよ、腹いっぱい
飯を食わせると言われただけで……

あー、映画のはじめの方で長老の爺様が
言っていましたね、「腹へったら熊だつて山下
りるだよ」って。武士は食わねど高楊枝な
んて本当に腹が減ったら言つてられない。

まあ確かに食えないNPOが多いのは事
実ですよ。

でも、あの侍たちは飯のためじゃなく百
姓を不憫に思ったからで、NPOだって腹
を減らした熊ってことはないでしょう。

腹が減ることだけとやらすにはいられな
いのが、本来のNPOの姿なんですよ。ね。
NPO新しい雇用の受け皿という考え方
や、ちょっとオシャレな働き方、などとい
った考え方があつた方がね。まあ確かに
NPOがこれだけ増えてきたからその点も
有りかなと思う面もありますが、飯食えな
いからNPOに拾ってもらおうというよう
なことでは決まてないわけ……

世間では、NPOは失業者対策だつて思っ
ている輩がいますよね。

いますね。困ります。

でも、NPOに認定されれば行政とか世
間が助けてくれるようになる、なんてのも
ありませんか？

あります。それも困ります。実際は助け
てもらってもしかるべきだと思うような人
が、同じ境遇の仲間を集めてNPOを立ち
上げ、お互いに支え合いながら、自分たち
なりの社会貢献をしようとするところもあ
るんですよ。

映画の中では百姓たちも竹やり持つて戦
いましたよね。何人かは斬られたし、命が
けの究極の市民活動ですね、あれは。

確かにそうですね。でも、百姓たちはN
POではないと思いますよ。彼らが戦えた
のは七人の侍が一緒だったからで、百姓た
ちには自治の精神はあつても戦う術は知ら
ないから野武士には敵わないわけですよ。
やっぱり専門家集団の支えが必要ですよ。そ
の役割をするのがNPOなんですよ。

侍のリーダーは誰でしたかね（志村喬の
島田勘兵衛）。確かに専門家でした。大勢の
野武士を一騎ずつ村の中に誘い込んで皆
で束になって竹やりで突き刺すという作戦
を立てましたね。彼がいなければ、残りの
侍も農民も何一つ機能しなかった。

勘兵衛のリーダーシップがすばらしかつ
たですよ。農民を説得したり、鼓舞したり。
一方で抜け駆けして手柄を立てようとした
菊千代（三船敏郎）には厳しかったですよ。ね。
持ち場を離れて仲間を危険にさらしたわけ
ですから。

勘兵衛をはじめとして様々なキャラク
ターの侍が集まるでしょ。生まれも育ちも
年齢も異なる人が、でも、得意技というか、
七人それぞれの役割がちゃんとある。もし
て農民も一緒になって戦術を共有し動く。
NPOもこうあるべきですよ。



せがれのかたき
うつだあよ!

七人の侍



そこが、この映画の面白さかもしれないですね。支配される側の農民が侍を雇い、落ち武者から奪った鎧・兜を侍に提供する。米や酒を床下に蓄えている。侍と百姓と、いったいどっちが強いんだって考えてしまいます。



誇らしい。...ところで話は変わりますが、百姓は野武士に略奪されるだけの弱者じゃなくて、実は落ち武者狩りをして鎧・兜や、刀、槍を隠し持ったりするでしょ。菊千代の言葉を借りると、百姓は、弱くて怖がりでするくって悪すれ。



「七人の侍」だって映画でしょう。あつ、でも、これって昭和三十年頃の作品ですよ。白黒映画だけど、どの場面も絵になるし、セリフに無駄はないし、台本はいいし、演出は冴えてるし、名作ですね。

そりゃマンガだからでしょう。



これって「ONE・PIECE」の麦藁の一味と同じですね。ルフィにナミにゾロにサンジに...九人の侍。えっ「ONE・PIECE」読んでない! 読んだ方がいいですよ、熊本県人なんだから。「ONE・PIECE」ってのは、とにかくスゴいんですから。ルフィなんて七人の侍が束になっても絶対敵わない。勘兵衛と違って戦略とか戦術はありませんけどね。



侍一人ひとりのパーソナリティを活かしながら戦略と戦術を立てるリーダーというのがNPOにも望まれます。複数の事業を同時に回して行くには、それに適した人材を集める必要があります。若しくは育成しないといけないわけです。そこにはまた信頼関係も必要です。それぞれの侍が持ち場を分担して百姓を戦闘員としてリードしています。



あの剣術の達人の超クールな侍の久蔵(宮口清二)を希望します。最後に雨の中で種子島銃で撃たれて倒れる、あのイブシギンの

はいはい。じゃあ私は志乃(津島恵子)。

...ムリ。



私は、NPOは解散も有りだと思っんです。設立の目的を達成した時点で解散してもよい。だから、毎年事業を見直したり評価したり、それを組織内部で行うことが必要なんです。組織維持だけが目的になっているようなNPOではためだと思えます。仲間を失ったり、場合によっては自分が死ぬことだってある戦いを七人の侍は請け負ったわけですが、NPOとして活動する意義をどこに見いだすのかを改めて考えさせられました。

名作ですね。

ところで今回は、何の役で登場しますか? 前は、ポンポコ狸オヤジでした。



ミッションを完遂したんですよ、七人の侍は。勘兵衛は生き延びたんです。



映画の最後のシーンで、野武士集団に勝利したのに、勘兵衛が「また負け戦だったな勝ったのは百姓たちじゃ」というセリフを言うでしょう。地縁百姓と根無し浪人の対比が、市民とNPOの関係にダブらないでもない。私たちの姿を見るようで、どこか悲しくもありました。



私は、まちづくりの住民団体とか、町内会やPTAを連想するんです。こういうところって、お金は結構な額貯め込んでるんですよ。でも、行政から補助金貰えるもんならとりあえず貰っとく。床下に米や酒、鎧・兜を貯め込むのと同じ。投資マイナンドは全然ない。政府の埋蔵金の話があるけど、全国の地縁団体が隠し持つ埋蔵金は、総額何千億円にもなるんじゃないかって...

きょうから始める市民活動（2・3）

第2回仲間を集めよう

あいぼーとは、これから仲間を見つきたい、団体は作っただけで運営に悩んでいるといった方々を対象に、7月から市民活動の道しるべとなる連続講座を開講していきます。

第2回は8月3日に「仲間を集めよう」、続く第3回は9月7日に「活動を具体化しよう」をテーマに開催しました。その概要を紹介します。

第2回「仲間を集めよう」のポイント

1. コミュニケーションは相手主導
ー「知らせる」と「伝える」は違う
2. 自分たちの活動の強めたいところ、足りないところを整理する
ーどんなメンバーがいればいいのかを考える
3. メンバー募集のチラシ用の原稿を作ってみる
ー加わってほしい人に伝わるチラシを確認する



■「タコ紹介」でスタート

「タコ紹介」とはスミを出す、吸盤がある、八本足などいくつかの禁句を設定し、3つの言葉で、相手に「タコ」を伝える一種の連想ゲームです。相手の身になって言葉を選ばないと、「タコ」はなかなかイメージされません。子ども、お年寄り、外国人など相手によって使う言葉も変えなければなりません。「タコ」を伝えるためには、まず相手の立場に立つことが重要です。

■どんな仲間を求めるか具体的にしましょう

仲間を集める呼びかけをするときに大切なことは、どんな仲間を求めているのかをきちんと伝えることです。呼びかけられた相手が「私が求められている!」と感じることがポイントです。

そのためには、まず自分たちの団体や活動の強みや足りないところを整理しましょう。それを踏まえて、今回はどんな仲間を集めるのかを決めます。例えば、団体のホームページを作りたい↓Tに強い人、移動手段がない↓車を運転してくれる人など、求めている仲間をできるだけ具体的に

しましょう。

■共感し、応募というアクションにつながって初めて伝わったと言えます

いよいよ仲間を募集するチラシの原稿作ります。チラシを手にとってもらうには、いくつかのコツがありますが、何よりも大切なことはチラシに盛り込む内容です。自分たちの活動紹介、どのような仲間を求めているか、なぜ今回、仲間を募集するのかなどを整理して言葉にしましょう。

市民活動で仲間を集める場合、まず自分たちの活動に共感してもらうことが必要です。単なる求人とは違い、自分たちの思いを「伝える」ことが重要なのです。作成したチラシは、いろいろな人にチェックしてもらい、自分たちの思いが伝わるか確認しましょう。さらに配布方法も重要です。効果的な設置場所や配布方法のアイデアを出し合いましょう。

★参加者の感想★

▼伝える目的を明確にしておくこと、的を絞ることがいかに重要か。チラシや会報づくりにいかしていきます。

▼期せずして同じアイデアの持ち主があられ意気投合しました。参加して勇気が出ました。

第3回活動を具体化してみよう

■事業計画書とは

事業計画というと難しくそうですが、私たちの活動目的や内容を仲間同士で共有したり、対外的な信用を得るために作成するものです。

一般に何を目的として、どういうことをするかという「事業内容」と、その事業をいくらかけてするのかという「予算書」から成ります。通常は何年というスパンで計画しますが、市民活動団体の場合は、年間で作成し、月々の収支を家計簿のように

チェックして赤字にならないようにしていけばいいでしょう。



■事業計画を作ってみる

『熊本市に暮らす仲良し主婦3人組が共同でレストランを開業する』という設定で、事業計画を作成してみよう。

まず、どのような店にするかを決めます。ターゲットと客単価、1か月の営業日数と営業時間、1日何人くらいのお客さんを想定するかを決め、1か月の売上予測を立てます。

客単価×1日客数×1か月の営業日数＝1か月の売上

次に、お店を運営していく上で、どのような経費がかかるかを考え、経費項目ごと

に金額を入れてみます。

売上予測と比較して、赤字にならないか、採算性を検討してみよう。

『定食屋の経営』は、市民活動というよりも起業するための事業プランだと思われるかもしれませんが、経営ということでは市民活動と同じです。

きちんと経費を考え、収支を意識することとは、活動を継続していく上でとても大切なことです。

★参加者の感想★

▼みんなで知恵を絞って考えると、良い知恵が浮かんで、良い考えが浮かんで、よい結果が生まれそうな気がしました。

▼いきなり事業計画というので少しびっくりしたけれど、案ずるより産むがやすかったです。

▼ラフで活発な雰囲気、正直、途中の計画立案のところであからさまな赤字のビジョンが見えてしまい、なんて申し上げていいかわからなくなりました。しかし、大変勉強になりました。いろんな考えをどう集約し、幹の太いベクトルを形成していくのか、この点を深く再考させていただきます。ただ機会になりました。

次回セミナーは1月11日(金)で最終回です。中小企業診断士から、事業の公益性についてお話を聞きます。

参加を希望される方はあいぽーとまで。

第3回「活動を具体化してみよう」のポイント

1. 事業計画について学ぶ
— どのようなもので、なぜ必要なのかを整理する
2. 実際に事業計画書を作成してみる
— 事業経費としてはどのような項目があるのかを考える
— 事業の採算性を考えた計画を作ることを学ぶ



NPO法人はじめの一步 (1) 法人化の検討

■ ボランティア団体とNPOは違うの？

同じです。NPOとはNon-Profit-Organization 非営利団体の略で、両者とも営利を目的とした活動をしていない団体（グループ）です。また、会則や事業計画を立てて活動している団体（グループ）もありますが、法律上は任意団体と呼ばれ、あくまでも代表者を中心とした個人の集まりということになります。

■ NPOとNPO法人は同じじゃないの？

NPOは、任意団体ですので、例えば収益を上げた場合の課税対象も代表者個人となります。一方、NPO法人は、特定非営利活動促進法の規定により法人格を取得した団体で、法的には株式会社や社団法人などと同等の権利義務があります。収益への課税も法人に対して行われることとなります。

■ NPO法人になった方が得なの？

これは難しい問題です。法人格を取得するとメリットとともに義務も発生します。損得で考えるよりも、自分たちが法人格を活かせるか、法人化により今後の活動により展望を生み出せるかで法人化するかどうかを判断する方がよいでしょう。

法人となると各種契約主体が法人ででき、法に定められた運営を行うことで社会的信用が得られやすくなる一方で、情報公開や登記や納税の義務など様々な義務も生じ、事務作業量が増すことは覚悟する必要があります。

■ NPO法人の設立はどのようにすればいいの？

NPO法人の設立の流れを表すと右図のようになります。

法人化するには、いくつかの要件を満たす必要があります。

例えば、

- ① 経済的利益の追求が目的でない
- ② 20分野にあてはまる活動
- ③ 活動の対象が不特定多数
- ④ 入会資格に制限がない
- ⑤ 最低10人以上の社員（会員）がいる

などです。

これらを踏まえた上で法人化を検討しましょう。

次回は「申請書の作成」について説明します。

NPO設立説明会のお知らせ

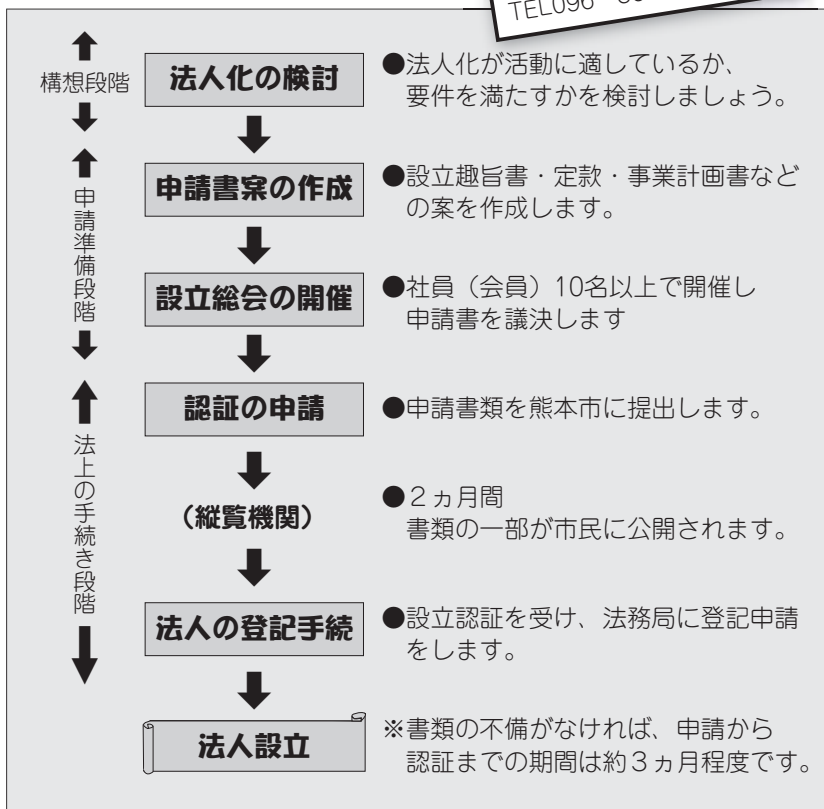
あいぽーとではNPO法人設立を考えている方を対象に、書類作成の方法等の説明会を開催しています。

■ 日時 1月18日（金）2月8日（金）
15：30～18：00

■ 場所 熊本市民活動支援センター
あいぽーと会議・セミナー室

※お申込みはひごまるコール
TEL096-334-1500まで

法人化についてわからないことがあれば、
あいぽーとNPO相談まで
TEL096-366-0168



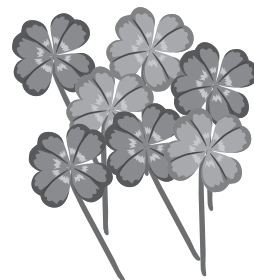
▶ 寄附金付自動販売機の設置について ◀

くまもと・わくわく基金の寄附の方法の1つに寄附金付自動販売機があります。

これは、寄附金付自動販売機を通して飲み物が購入されると、売り上げの一部（寄附額は1本につき1円程度など自由に決められます）がくまもと・わくわく基金に寄附され、市民活動の支援につながるというものです。

市民の方へ

寄附金付自動販売機を通して飲み物を購入していただけると、「飲んでおいしかった！」が市民活動の支援につながります。



商店や企業の方へ

店先や事業所内に寄附金付自動販売機を設置していただけます。

寄附金額は飲料メーカー・ベンダーとの契約の中で自由に設定できます。現在、熊本市が協定を結んでいる寄附金付自動販売機の提供事業者は、南九州コカ・コーラボトリング株式会社、南九州ペプシコーラ販売株式会社の2社となっています。（他の事業者の自動販売機を設置されている方はご相談ください。）

寄附金付自動販売機からの寄附も寄附控除の対象となります。また、年間の寄附金額に応じて熊本市の観光文化施設の入園料・入場料を免除されるほか、寄附の用途の事業報告会や寄附者と市民活動団体との交流会にご招待します。（※寄附金付自動販売機に関するお問合せ：熊本市市民協働課 市民活動推進係 TEL096-361-0168）

市民の方



飲み物を購入

購入

自販機の設置者

契約



寄附額を
差し引いた
売上

協定を結んだ
飲料メーカー・ベンダー

※具体的な寄附の金額については、自由に設定できます。

寄附額

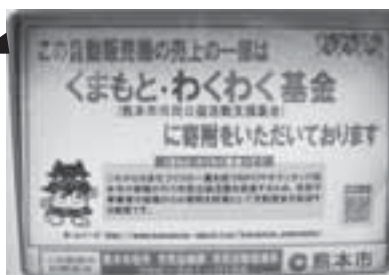
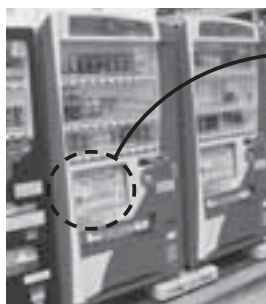
毎年4月・10月



くまもと・
わくわく基金

熊本市市民公益活動支援基金

第1号が(株)バースト24
「くまもとまちなか駐輪場」に出現！



上通、下通周辺9か所の「くまもとまちなか駐輪場」に21台の寄附金付自動販売機が設置されています。

見かけた方は、ぜひ利用してください。

★ あいぽーと仲間の1週間 ★



妊娠・出産・子育て情報ネットワーク

うみ・つき

私たち妊娠・出産・子育て情報ネットワークうみ・つきは、「産み育てる側から変わりたい!」と、妊娠・出産・子育てにまつわるいろいろな課題に直面したメンバーが、もっと学びたい・当事者として発信したいという想いをもって、情報交換や学びあうネットワークづくりを目的として活動しています。

●活動内容：毎年11月3日にイベント「いいお産の日 in 熊本市」開催／毎年3月20日にイベント「未妊の日 in くまもと」開催／その他、妊娠・出産・子育てに関するワークショップ開催

●主な活動場所：ウェルパル広場（ウェルパルクまもと1F）

●ブログ：<http://umitsuki.otemo-yan.net>

●メールアドレス：umitsuki1103@gmail.com



schedule

- | | |
|--------------------|--|
| 10月27日（土） | いいお産の日 in 熊本市2012に発行する「熊本の妊娠・出産・子育て情報誌ぶかぶか4号」の編集追い込み作業！半徹夜でフィニッシュ～！ |
| 10月28日（日） | ぶかぶか4号印刷&製本☆自分たちでやると、作った実感がより持てて楽しい♪ |
| 10月29日（月） | いいお産の日の会場を飾るススキを採りに西原村へ。秋の草原を満喫！ |
| 10月30日（火）～11月1日（木） | メンバーは子育て中の母親たち。子どもが寝てからメーリングリスト上でやりとりしつつ、準備を進めます！ |
| 11月2日（金） | いいお産の前日！！ススキさんたちが元気がなくなってきてしまったため、ふたたび西原村へススキ狩りへ！夕方からは直前ミーティング（という名の前夜祭^^）。マクロビオティックのお料理を子どもたちと一緒にいただきました♪子連れなので、7時過ぎには解散！明日に備えます。 |
| 11月3日（土） | いよいよ当日！4回目となる今回のいいお産の日のテーマは”響”。和の心を大切にするうみ・つきらしさを書やススキで演出しました☆メインは、福岡のシンガー monさんのライブ。癒された後はお産語り場で語りあい、産道ぐりでフィナーレ！ |

今年も 感動の時間を共に味わうことができ感謝です。
これからも、いいお産の輪が広がっていきますように。





(熊本市市民公益活動支援基金)

くまもと・わくわく基金からのお知らせ

くまもと・わくわく基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

熊本市民の皆さま、法人・団体等の皆さまからご寄附をいただき、平成24年10月16日現在、その寄附額は2,334,606円となっております。ご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、平成24年7月1日から10月16日の間にご寄附いただきました皆さまへ感謝の意を込め、以下にご芳名とお寄せいただいた方の寄附への思いを掲載させていただきます。

皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

(掲載はお申し出順)

ご 芳 名	寄附額
株式会社 えがお 代表取締役 北野 忠男 様	1,000,000円
ヨネツボ熊本山下交通事故行政書士事務所 代表 山下 洋史 様	10,000円
河野 通人 様	50,000円
株式会社 パースト24 代表取締役 太田 康隆 様	(自動販売機の売上の一部)

【掲載を希望されなかった方】 1 名

寄附への思い

♥当事務所は交通事故業務専門の行政書士ですが社会貢献活動にも力をいれております。私自身が「資金なし」で苦労して開業したため、同じように苦労されている方の力に少しでもなれたらという気持ちで寄附させていただきました。今後も色々な形でご協力できればと思っております。

(ヨネツボ熊本山下交通事故行政書士事務所 山下洋史様)

♥熊本市のためになるならと思い、香典返しの一部を寄附させていただきました。(河野通人様)

♥私共は、パースト24駐車場とくまもとまちなか駐輪場を管理運営している会社です。今回『くまもと・わくわく基金』へは、中心市街地の駐輪場に設置してある飲料水自動販売機の売上の中から寄附させて戴いております。この基金が熊本のまちづくりに有効に活用されますよう期待しています。

(株式会社パースト24代表取締役 太田康隆様)

寄附をお考えの方

くまもと・わくわく基金への寄附をされる場合、まず「寄附申出書」にご記入いただき、熊本市市民協働課にご提出ください。その後、振込方法等をご連絡させていただきます。

寄附額には制限はありませんが、2,000円以上ですと、地方公共団体に対する寄附として「ふるさと納税」扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附のお申込みやお問合せ、ご不明な点等は、お気軽にあいぽーとまでご連絡ください。

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと TEL096-366-0168

ホームページ http://www.kumamoto-aiport/kumamoto_wakuwaku/

あいぽーと文化祭

～政令指定都市誕生・集う力が未来をきずく～

11月25日（日）に第4回「あいぽーと文化祭」が開催されました。今年で4回目を迎える文化祭は、あいぽーとに登録している団体の有志の方が中心となって開催しており、市民活動団体が日頃の活動を市民の方々に知っていただく貴重な機会となっています。

今年のテーマは「政令指定都市誕生～集う力が未来をきずく～」。25団体が、文化・環境・福祉・食・癒しの5つの分野に分かれ、パネル展示、体験コーナー、ステージパフォーマンスなど様々なプログラムを通して活動を披露し、大人から子供まで多くの参加者で一日中笑顔あふれる時間となりました。



◆ オープニング ◆

ひご丸くんとくまモンの登場で子ども達は大喜び。大道芸や迫力ある太鼓の演奏など賑やかに文化祭の幕が開きました。



●文化

伝統芸の肥後ちょんかけごまや南京玉すだれの楽しいパフォーマンスのほか、体験コーナーもあり、8団体が日頃の文化活動を披露しました。



●環境

身近な自然を紹介するジオラマやパネルに注目が集まりました。廃材利用のミニ門松作りは好評で材料が足りなくなるほどでした。

●福祉

手話ダンスの元気なステージや地道な福祉活動のパネル展示などで4団体が活動を紹介しました。



●食

熊本県産の野菜を使ったカレーやみさを大豆のお菓子など大人気でした。



●癒し

アロマハンドトリートメントや色遊びを体験する大人や子どもで大いに賑わいました。

●ボランティアさん

受付や駐車場整理、館内案内など、14名のボランティアさんが裏方として支えてくれました。



Editor's Note

2013年も「あいぽーと」をよろしくお願いいたします。

スタッフ一同



センター長です。
年をとると生きているのがうれしいな～！
岡部香月

年だけは古株ですが、「あいぽーと」では新芽が出たばかり。可愛い新芽でいたいな♥丸山朋子

私の座右の銘は「人生楽しんでなんぼ！！」です。人生を楽しむためには、一生懸命に生きること、あらゆることにチャレンジすること。松本克彦

さあ～て、そろそろ本気だしますか！
公私ともに実りある年にするぞ！！しらいし



あいぽーとでお世話になり8か月になります。仕事には付いていけるのか心配です。皆さんの温かい一言「ありがとうございます」、笑顔、「大丈夫よ」との言葉に勇気とやる気をいただきます。頑張りますので、よろしくお願いいたします。外木場緑

年が明けましたね。去年は、いろんな活動をされている人に出会い、驚きばかりでした。また、どんな出会いがあるか楽しみです。奥の方から何か重～い視線を感じたら、それは私です。兵藤

このeyesが発行された時は、おそらく新しい連立政権が樹立されて、激動の日本の幕開けかも…。さて、この予言が的中するか否か？あ～恥をかくかも？！北川

明けましておめでとうございます。2013年は巳年ですね。巳年は前の年に蒔いた種が芽吹くそうですが、私は土を耕してばかりいて、種を蒔き忘れました。どこからか飛んできた種が開かないかなあ、なんて今年も他力本願な私です。今年もよろしくお願いいたします。清村



仕事に押しつぶされないよう、注意します！
今年も宜しくお願いします。川元

周辺地図



住 所 : 熊本市中央区大江5丁目1-1 ウェルパルクまもと1階
電 話 : 096-366-0168
MAIL : aiport_kumamoto_city@joy.ocn.ne.jp
開館時間 : 午前8時30分～午後9時
休館日 : 毎月第2木曜および年末年始
アクセス : 電車・バス「交通局前」、市道（産業道路）バス「NTT 病院前」

センター主催のイベントや講座、ボランティアの募集、わくわく基金等に関する詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kumamoto-aiport.com>

編集後記

eyes も2号にして新年号、皆さんの手元に届くときには情報誌として古くなっているかも・・・という点に気を遣います。とはいっても東日本大震災から2回目のお正月がやって来ることが信じられない程、つい最近の出来事のようにも感じます。昔から年寄り口にしていた、「一年があっという間に・・・」ということが実感できる年になってきました。(景)

eyes (あいず)

1月号 2013年1月1日発行

★発行所

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと
〒862-0971
熊本県熊本市中央区大江5丁目1-1
ウェルパルクまもと1階
TEL : 096-366-0168

★印刷所

シモダ印刷株式会社

本誌掲載記事の無断転載を禁じます

あいぽーと Information

参加受付中

くまもと・わくわく基金平成24年度助成団体 中間報告会&交流会

平成24年度のくまもと・わくわく基金の助成団体による事業の中間報告会とともに、寄附企業や行政職員との交流会を開催します。今後のネットワークづくりの良い機会となりますので、たくさんの市民活動団体の方のご参加をお待ちしています。

- 日 時： 25年1月11日（金）17：30～19：10
- 場 所： ウェルパルクまもと1階 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと
- 対象者： くまもと・わくわく基金に興味関心のある方、くまもと・わくわく基金登録団体
あいぽーと利用登録団体、NPO法人、寄附者、行政職員
- 定 員： 60名程度
- 申し込み方法： あいぽーとに來所いただくかFAX、電話で申し込んでください。

参加受付中

ボランティア登録者研修会

あいぽーとにボランティア登録をされている方を対象に研修会を開催します。今回は、障がい者の支援を実際に体験していただきます。登録をしたけれど何から始めていいかわからない方、障がい者支援の方法を学びたい方は、ぜひ参加してください。

- 日 時： 平成25年2月17日（日）
 - 場 所： ウェルパルクまもと1階 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと
 - 対象者： 個人としてあいぽーとにボランティア登録をされている方
- ※詳細については、あいぽーとにお問合せください。

参加受付中

NPO法人向け会計セミナー

熊本市内で活動しているNPO法人を対象に、活動計算書の記入法のセミナーを開催します。

- 日 時： 平成25年2月22日（金）
 - 場 所： ウェルパルクまもと1階 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと
 - 対象者： 熊本市内で活動するNPO法人
- ※詳細については、あいぽーとにお問合せください。

随時募集中

あいぽーと折々ボランティア募集

あいぽーとで発行している「あいぽーと通信」「eyes」などの情報誌の発送作業を手伝ってくださるボランティアを募集しています。紙を折る、封入するといった簡単な作業です。参加は一人でも、仲間の皆さんとでも構いません。気軽に始めることができるので、ボランティアを始めたいけど、はじめの一步が踏み出せないでいる方にピッタリです。

- 活動日時： 月1回。毎月末、午前10時～12時まで
 - 場 所： ウェルパルクまもと1階 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと
- ※詳細については、あいぽーとにお問合せください。